

# 統計ニュース

〈報道各紙掲載記事より抜粋〉

## 《国内・国際》

### 9/12 小中高生 200人 自殺

文部科学省が11日発表した、2011年度の「問題行動調査」により、昨年度の小中高生の自殺が前年度比44人(28%)増の200人だったことが分かった。200人以上となったのは1968年(268人)以来で、6割近くが「原因不明」とされている。一方、いじめは前年度から7399件減の7万231件を認知。調査は全国の国公立小中高校、特別支援学校を対象に行われた。自殺は小学校6年生4人、中学生39人、高校生157人の200人。一方、いじめは、全学校数の38%にあたる1万4894校で認知。中学1年の1万5260件が最多で、中2の1万652件、奨学年の6813件と続く。

### 9/15 公立学校 廃校 474校

文部科学省は14日、2011年度に全国の公立学校474校が廃校になったと発表した。少子化による児童・生徒の減少が原因としている。廃校の内訳は、小学校323校、中学校93校、高校50校、特別支援学校8校だった。1992年度の調査開始からの廃校数は、計6834校。都道府県別では北海道の760校が最多だった。次いで東京389校、新潟303校と続いた。最も少なかったのが滋賀の32校だった。

### 9/17 65歳以上 3000万人を突破

65歳以上の人口は3074万人で、初めて3000万人を突破した。「敬老の日」を前にした総務省の推計によると、前年から102万人増え、総人口に占める割合は0.8ポイント多い24.1%と過去最高を更新した。「団塊の世代」の先頭グループである1947年生まれの人が今年65歳となって「高齢者」の仲間入りをしたため、対前年の増加数と割合はいずれも過去最大となった。推計は2010年の国勢調査を基に、その後の出生や死亡数を今月15日時点で反映させた。65歳以上のうち、男性は1315万人、女性は1759万人だった。

### 9/28 医療費総額 過去最高

厚生労働省は27日、国民が1年間に使った医療費の総額が2010年度は前年度比3.9%増の37兆4202億円になったと発表した。厚労省は価格の低い後発薬品の利用促進や入院日数の短縮など医療費抑制策に取り組んでいるが、膨張に歯止めが掛からない。増加の内訳をみると新しい抗がん剤の開発や高度な診療機器の普及などの医療の高度化、高齢者の増加や診療報酬の改定などがある。

## 《県内》

### 9/7 100歳以上 最多 970人

敬老の日(17日)を前に、県は6日、県内の100歳以上の高齢者(15日現在)が過去最多の970人に達したと発表した。県の全人口に占める高齢者の割合(高齢化率)も昨年10月1日現在で過去最高の28.2%となり、前年に続いて全国4位だった。100歳以上の高齢者は男性が100人、女性が870人。前年同期より66人増え、過去最多を更新した。市町別で100歳以上が最も多いのは、下関市で189人。次いで山口市が124人、宇部市が100人だった。年々増加している高齢化率は前年より0.2ポイント増加。全国平均を4.9ポイント上回った。

### 9/8 児童虐待 昨年度 269件

県内の児童相談所が対応した2011年度の児童虐待が、前年度比12件増の269件だったことが分かった。このうち、子どもを家族と離れた児童福祉施設に入所させた重度の虐待は66件で約25%にのぼり、過去5年間で最多となった。主な虐待者は実母が131件、実父が83件で、実の両親が全体の約8割を占めた。虐待の種類ではネグレクト(育児放棄)が103件、身体的虐待が100件など。相談の通告者は、学校などが86件で最多で、家族が56件、警察などが40件となっている。

### 9/20 県内基準地価 依然 下落続く

県は19日、県内の7月1日現在の基準地価を発表した。基準地は19市町402地点。住宅地の1平方メートル当たりの平均価格は前年比4.3%減の2万7400円で、14年連続、商業地は同5.3%減の5万2400円で、下落は19年連続となったが、下落幅は住宅地で5年ぶり、商業地は2年連続で縮小した。最高価格は2年連続でJR新山口駅周辺の山口市小郡高砂町と14年連続で岩国市麻里布町の18万円で、ともに商業地だった。